

令和6年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	15
事業名	住宅維持管理経費	会計 一般	款 8	項 5	目 1
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	建設課		
施 策	9-1 良好な居住環境の形成	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町営住宅入居者及び入居希望者	目的（対象がどのような状態になっているか）	町営住宅が適正に管理し、入居者及び住民に良好な住宅が供給が出来るている。
事業内容		良質な町営住宅の管理を行い、入居手続き等の事務が速やかに行えるようにする。使用料の完全徴収に努め、公平性を担保する。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(予算)	
全体事業費(千円)			3,176		3,099		2,970	
財源内訳	うち一般財源		0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	町営住宅は住宅困窮者にとって必要な施設であることから、継続して維持管理していく。	③取組の課題	大木団地は建築から30年以上経過しており老朽化が進んでいる。
②R6年度に実施した取り組み	予算の範囲内で修繕工事に努め、良質な町営住宅の供給を行った。入居手続き等事務を速やかに行い、入居者及び住民の要求に対応した。使用料の完全徴収に努めた。	④今後の改善計画	今後の町営住宅のあり方を調査・研究する必要がある。